

大谷幼稚園 9月のおたより

「先を見据えた上で」

園長 たなか たかあき 田中 貴章

大谷幼稚園の保護者の皆さま、関係者の皆さま、こんにちは。園長の田中です。まだまだ暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。さて、いよいよ2学期が始まりました。夏休みを終えて全園児、全職員が元気に園に戻り、再び園に活気が出てきました。夏休み期間中に教職員は様々な研修に参加してきました。そのような中、私もお盆期間中の休みを利用して、初等教育に関する研修に4日間参加してきました。幼稚園教育から初等教育への接続、連携を考えた時、小学校ではどのような学習環境なのか、授業計画、構成や進め方、教科ごとの要点を担当の先生や校長先生からご指導いただきました。これは、今後、園で早期教育を推し進めるということではなく、幼稚園から小学校への接続をスムーズに行うために保育内容を再度検討することを目的としています。そういった意味では、大変有意義な研修となりました。そして、2学期には大きな行事があり、運動会についてはすでに取り組みが始まっております。それぞれの行事の企画、運営を考えた時、前年度と同じでいいとの思いは全くありません。まずは、①園児にとってより良い内容（保育）にしていくこと。②保護者の皆さまの行事に対する満足度を上げていくこと。③お手伝いいただく内容の効率など、前回の反省を生かし色々な事を再度検討すること。以上のことを踏まえ、行事を重ねていくごとに内容的な進化を意識することが大切だと考えています。このように教職員は、日々の反省や経験を生かし、次の到達目標を設定して、更なる先を見据えた上で保育計画、指導案を立てて取り組んでいます。園活動（行事）とはお子さまにとって「今、現在のひとコマひとコマ」が成長過程であり、ご家庭で親からの「抱擁」「笑顔」「語りかけ」をたっぷり経験すること、この経過を得ることが豊かな人間形成へと繋がります。夏休みで心も体も成長したお子さま達は、2学期を迎え更に多くの経験をします。これからも、沢山褒めて沢山話を聞いてあげることで、驚くほどの成長や喜びを感じられると思います。職員もお子さま一人ひとりの先を見据えた上で、今現在のあるべき姿を考えて園活動に取り組んでまいります。

